

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第218号

令和6年12月13日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370






子どもサイエンスフェスティバル相模原大会

年間4回(4地域)開催する「子どもサイエンスフェスティバル」の今年度2回目となる「子どもサイエンスフェスティバル相模原大会」が、11月16日(土)に相模原市立青少年学習センターで行われました。

当日は102名の来場(子ども57名、保護者等45名)があり、6つのブースで科学工作や実験ショーを楽しんでいる姿が見られました。来場者数が少なかったこともあり、どのブースでも待ち時間がほとんどなく、ゆっくりと体験できたため、アンケートの満足度の平均が4.7(5点満点)と高い結果となりました。教員の働き方改革のため、小学校で児童全員にチラシを配布することが難しくなり、より多くの方に周知し来場してもらうことが今後の課題となりました。



1 ゾウのはみがき粉	2 紫外線を使って アクセサリを作ろう!	3 音のプリズム - 雑音の中に音階を探そう
<p>神奈川県立多摩高等学校 生物・地学部</p>	<p>神奈川県立青少年センター 科学部科学支援課</p>	<p>自然科学に親しむ会</p>
<p>化学反応の力で泡が噴き出してくる実験ショーです。高校生が原理をわかりやすく説明していました。参加者からは「おもしろい」「びっくりした」等の反応がありました。</p>	<p>紫外線で固まる樹脂を使い、蓄光パウダーやビーズなどを材料にしたアクセサリを作りました。オリジナルのアクセサリを作ることができ参加者はとても喜んでいました。</p>	<p>長さが異なる円筒を通してラジオの白色雑音を聞くと、それぞれ決まった高さの音が聞こえる体験や、ストローで笛を作る体験ができました。</p>
		
		

<p>4 無線で暗号をといてみよう！</p>	<p>5 牛乳パックでつくる紙工作</p>	<p>6 フライハイ - テンセグリティで紙飛行機を宙に浮かべてみよう</p>
<p>紅葉ヶ丘無線クラブ</p>	<p>公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部</p>	<p>公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部</p>
<p>無線を使った交信と、ラジオからのモールス信号を聞いて、暗号を解く体験をしました。ヒントをもとに参加者は、問題を楽しそうに解いていました。</p>	<p>牛乳パックを利用して、ブンブンコマとびっくりリンクを作っていました。特にびっくりリンクは、子どもたちがとても喜んで遊んでいました。</p>	<p>糸とアイスクャンディー・スティックでテンセグリティ構造をつくり、紙飛行機やペーパークラフトを上手に浮かべていました。参加者は、夢中になって作製していました。</p>
		
		

当日の会場の様子

10 時の開場に合わせて多くの方が来てくれました。テンセグリティ構造で紙飛行機を浮かべた完成品が展示されているなど、各ブースに入る前から来場者がワクワクしていました。出展して下さった各団体の皆様に感謝いたします。



事務局から

今年度の「子どもサイエンスフェスティバル」も12月21日(土)の平塚大会、2月2日(日)の小田原大会の残り2回となりました。子どもたちの科学体験活動の場を提供するため、引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。

(事務局 : 奥村、山田、上田、山口)

